

一般質問(要旨) 「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は1月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



有機フッ素化合物(PFAS)に関する調査等について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 横田飛行場において2010年から2012年の間に3件の泡消火薬剤の漏出があった件について、その後の新聞報道等で市民の関心がさらに高まる中で市が独自に市内地下水の調査を行う予定と聞くが、調査に至る考え方、その目的及び内容を伺う。

市長 昨今のPFASに関する報道等によりその影響を不安に思う市民に対し、その不安を早急に解消す

るための取り組みが必要であると考え、市内地下水のPFASに係る現状の把握を目的として調査を行うこととした。調査項目は、PFASのうち国により暫定目標値が示されているPFOS及びPFOAを調査する。調査地点は、市内の状況を広く把握するために7つの小学校区単位を目安に調査地点を選定し、計10か所について調査を実施する。調査

結果は風評被害等を考慮して調査地点を公表せずに町名単位によって行うこととし、来年1月末頃の公表を予定している。調査結果に対する問合せ等については、国が発行する「PFOS、PFOAに関するQ&A集」等に基づき、丁寧かつ適切に対応を行っていく。本調査以降も市内地下水の状況把握が可能となるように継続した調査を実施したい。



▲地下水におけるPFAS調査の様子

保育園等における給食について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 子どもたちにとって非常に重要である保育園等の給食はどのような仕組みで運営され、市はいかなる支援を行っているのか伺う。

市長 食育計画を基に園長・栄養士・調理員などによる献立会議を定期的に開催し、慎重かつ綿密にメニューを決定している。市は、一定の基準を満たすことを条件に栄養士や調理員の増配置に対する上乗せ加算

を行っている。また、副食費について、物価高騰に対応するため保育園や保護者の負担を軽減する対策を令和6年度から開始する予定である。

第53回福生市民文化祭について

質問 本事業の概要、目的、評価及び今後の課題と展望について伺う。

教育長 11月3日から12日のうち、土・日・祝日の5日間、市民会館、公民館、さくら会館、茶室福庵で発

表や展示等が行われ多くの来場者でにぎわった。文化祭は文化芸術活動の成果を発表する場であるとともに市民文化の向上と潤いのある市民生活の実現に寄与するものである。今年度は、新たに市内の高校生や若い世代の参加もあった。来場者数も2万5000人でコロナ禍以前の実績まで戻り、地域の文化芸術の活性化を図ることができた。



▲市民文化祭での展示スペース

桜の老木化に対する市の取組について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 福生市の名所である桜並木や市内の公園に咲く桜を後世に残すことは我々の使命である。桜の老木化に対する市の取り組みを伺う。

市長 造園業者の樹木診断や職員の定期巡回による樹木の態様確認を行うとともに、害虫被害を早期発見し駆逐するため、防虫ネットや薬剤による対処を行い、桜の寿命を延ばすよう取り組んでいる。観光資源と

しても大切な堤防沿いの桜並木の保護に努めるとともに、安全確保の視点から必要な伐採を含め対応したい。

図書館の今後の展望について

質問 教育委員会から展望を伺う。

教育長 福生市教育委員会は、図書館をより一層充実させるため、平成26年に福生市立図書館基本計画を策定し、市立図書館の目指す将来の方向性を示しているが、今後は、大

人も子どもも楽しく学べる場としてこれまで以上に魅力ある事業を展開するとともに、本市におけるランドマークの一つとして市民に愛される施設とすることを目指す。また、中央図書館のリニューアルに伴う新たなサービス等を位置づけるために、福生市立図書館基本計画の現在の計画期間を1年間延伸して令和6年度末までとする。



▲桜の木へ薬剤を散布する様子

学校給食における物価高騰への対応について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 景気悪化と物価高騰は当分の間は回復しないのではないかと懸われる。令和6年度からの給食費の改定に際し保護者負担額の増は行わないと聞いているが、教育委員会の物価高に対応するこれまでの取り組みと給食費改定に至った経緯を伺う。

教育長 消費者物価指数の全国版における食材物価の上昇率は、令和5年4月分は前年同月比で8.4%で

あり、ここ数年間、食材の高騰が続いている。このため、学校給食費について保護者負担額が増加しないよう、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金から約2078万1千円を充当する予定。しかし、食材費高騰の先行きが不透明であることや物価高騰対策に係る国や都の補助金等の交付の見通しも今後は不明であることなどから、賄

材料費の不足が生じる懸念があるため、教育委員会は福生市学校給食センター運営審議会からの答申に基づき、令和5年10月27日開催の教育委員会定例会で学校給食費の改定を議決した。令和6年度以降の学校給食費は改定して引上げを行う予定だが、昨今の物価高騰に鑑み、引上げ額相当分を市費等で負担することで保護者負担の増額はしない考えである。

